

JUTA

顧問 鹿倉 二郎

JUTAはアスレティックトレーナーに関する知識、技術を学び、それらを応用し選手に対し活動を行う同好会である。実際に競技スポーツのクラブに所属し、現場で活動する者と特定のクラブには所属せず、ウエイトトレーニング室の一角にあるアスレティックトレーニングルーム(ATR)で活動する者がいる。

2009年の代表的な活動は下記のとおりである。

- ①トレーニングルームでのトレーナー活動：月、火、木の16：30～20：00。春休み・夏休み期間中は火、木の12：30～14：00。2009年の利用者数は月平均約90名であった。
- ②学生主導の勉強会：定期（木曜日早朝、金曜日夜）および集中（春・夏休み期間中）で行った。
- ③スポーツ大会などへの学生トレーナー派遣：社会人アメリカンフットボールチーム、バドミントン部順大オープンなど。
- ④JUTA通信の発行。

2009年4月から顧問として活動を開始したが、以上の活動の内、直接指導にあたったのは、① ATRでの活動と③社会人アメリカンフットボールチームでの活動に関してであった。

ATRでの活動における指導内容としては、外傷・障害の評価方法、それを元にしたアスレティックリハビリテーションプログラムの作成指導および実施指導、コンディショニングプログラムの作成指導および実施指導であった。基本的には、以上のことを学生が主体となってい、その評価方法、および学生が作成したアスレティックリハビリテーションおよびコンディショニングプログラムをチェックし、改善などを指導する形をとった。また、その後のプログラムの進捗状況などのチェックおよびプログラム変更などにもアドバイスを行った。

一方、社会人アメリカンフットボールチームでの活動は、主に試合時のアスレティックトレーナー活動についての実地指導であった。実際の試合時ということで、希望者の内から2名程度を選抜した。指導内容は、試合前のテーピング、ストレッチングを含むコンディショニング、試合中の外傷に対する救急処置、試合後の外傷の評価などであった。このチームの場合、試合時には必ずチームドクターがベンチ入りするため、ドクターによる外傷の評価を見学することができた。また、ドクターとのコミュニケーションの取り方などについても体験することができた。

以上、簡単ではあるが報告とする。